

## # 今月の特集関連本



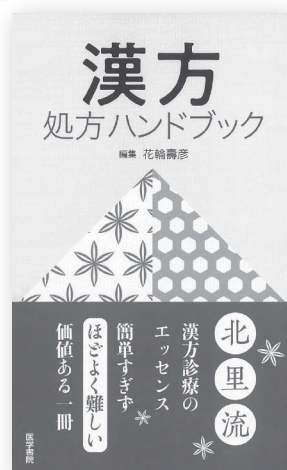
## 〈部分〉ではなく〈全体〉を治す 行き場に悩むあなたの女性外来

天野恵子＝編著

本体 1,600 円＋税／四六判・224 頁／亜紀書房／2006

本誌ご企画の片岡仁美先生 (p.271) が「性差医療」に導かれた、天野恵子先生 (p.280・314) による 1 冊。

女性だから見逃されている病気がある。数多の病院をめぐり、やっとたどり着いた「女性外来」。男性中心の医療では見逃されてきた「微小血管狭心症 (p.329)」や「線維筋痛症 (p.332)」、「更年期障害 (p.334)」や「月経困難症 (p.294)」などの病気の“治る手順”を、患者の手記と著者による解説で明らかにした。



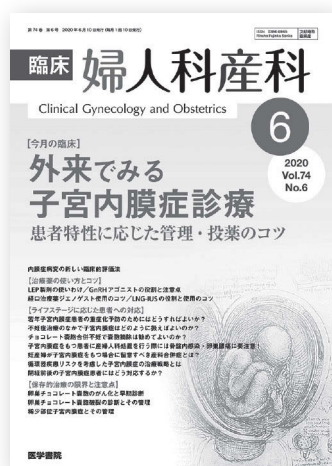
## 漢方処方ハンドブック

花輪壽彦＝編

本体 3,800 円＋税／B6 変判・488 頁／医学書院／2019

小宮ひろみ先生ご解説の「女性に有効な漢方療法」(p.289)と併せて読みたい。

漢方が効く病態約 50 に対する処方解説。プライマリ診療に簡便な医療用エキシ製剤を主としつつ、煎剤処方についても Advanced course で触れており、漢方を使い慣れた読者にも有用な 1 冊。内科系・整形外科を中心に、小児・女性・高齢者の診療、鍼灸、生薬までカバーした。医療用漢方処方の選び方・使い方 (腹証図付き)、エキシ製剤情報、薬局向けの患者説明用処方解説、煎剤解説、生薬解説など、付録も充実。北里流漢方診療のエッセンスを白衣のポケットに！



## 『臨床婦人科産科』2020 年 6 月号 (Vol.74 No.6)

### 外来でみる子宮内膜症診療

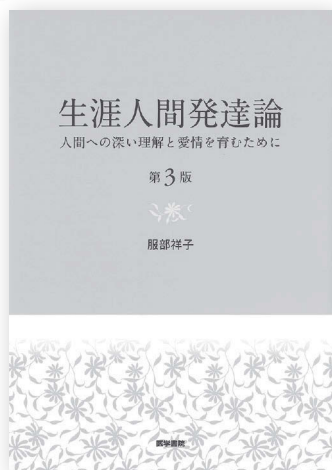
#### 患者特性に応じた管理・投薬のコツ

本体 2,700 円＋税／B5 判・116 頁／医学書院／2020

内膜症病変の新しい臨床的評価法として、従来の子宮内膜症評価法の特徴と課題、そして最新の評価法 NMS-E (numerical multi-scoring system of endometriosis) を冒頭で解説し、本編を「治療薬の使い方とコツ」「ライフステージに応じた患者への対応」「保存的治療の限界と注意点」の 3 章に分け、子宮内膜症の患者特性に応じた管理・投薬のコツを、第一線の医師たちが詳述した。



## #今月の特集関連本



## 生涯人間発達論

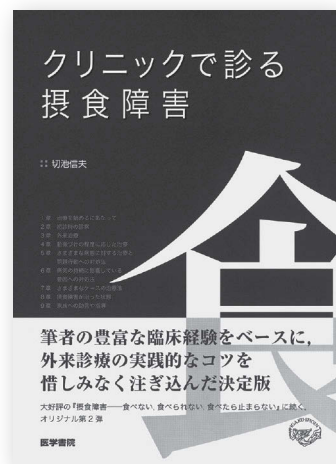
人間への深い理解と愛情を育むために

第3版

服部祥子＝著

本体 2,100 円＋税／B5 判・224 頁／医学書院／2020

「思春期の発達と危機的状況」(p.302)をご執筆の服部祥子先生の名著。エリクソンの理論をもとに、人間の発達過程をわかりやすく解説する。生まれてから老いて亡くなるまで人は発達危機に遭遇し、人格的活用を獲得しながら発達し続けるという。その文面からは、長きにわたって児童相談所や大学などで多くの子どもや学生、その家族と関わってきた著者の、人に対するやさしいまなざしを感じられる。医師や看護師、人と関わる職種すべての人に！



## クリニックで診る摂食障害

切池信夫＝著

本体 3,400 円＋税／A5 判・256 頁／医学書院／2015

クリニックでの外来診療に焦点を当てた「摂食障害」(p.299)の参考文献。大好評の『摂食障害—食べない、食べられない、食べたら止まらない』(医学書院、2000)に続く第2弾。筆者の豊富な臨床経験をベースに、実践的な診療のコツを惜しみなく盛り込んだサブテキスト。苦手意識があっても本書を読めば、「患者の大部分は外来診療でよくなる」「治療は名人芸ではない」「ある程度の臨床力と熱意があれば誰でも治せる」といったメッセージに勇気づけられ一歩を踏み出せる！

DSM-5  
精神疾患の診断・統計マニュアル

American Psychiatric Association＝原著

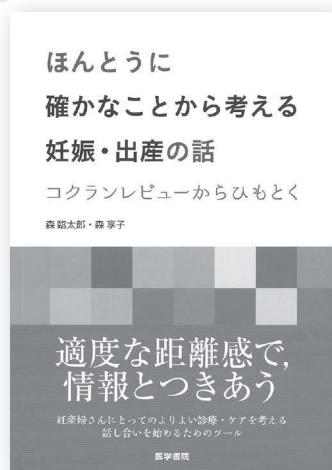
日本精神神経学会＝日本語版用語監修

高橋三郎、大野 裕＝監訳

染矢俊幸、神庭重信、尾崎紀夫、三村 将、村井俊哉＝訳

本体 20,000 円＋税／B5 判・932 頁／医学書院／2014

米国精神医学会（APA）の精神疾患の診断分類、改訂第5版。DSM-IVが発表された1994年以来、19年ぶりの改訂となった今回は、自閉スペクトラム症の新設や双極性障害の独立など従来の診断カテゴリーから大幅な変更が施されることとなった。本特集でとり上げられた「月経前不快気分障害（premenstrual dysphoric disorder：PMDD）」(p.310)も、抑うつ障害群として収載されている。



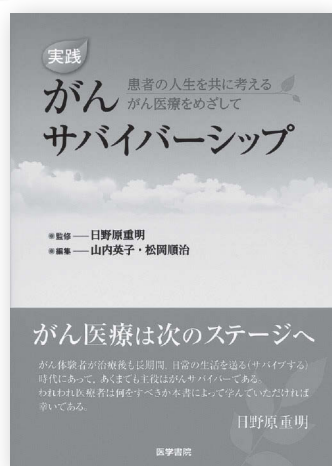
## ほんとうに確かなことから考える 妊娠・出産の話

コクランレビューからひもとく

森 臨太郎、森 享子＝著

本体 2,200 円＋税／A5 判・128 頁／医学書院／2018

医療や健康の分野で最も信頼性が高いと言われている情報源であるコクランレビュー。本書では、そのなかから妊娠・出産に関わるものを集め、紹介している。適度な距離感をもって、医療や健康の情報と付き合うために。妊産婦さんにとってのよりよい診療・ケアを考える、話し合いを始めるためのツールとなる 1 冊。



## 実践 がんサバイバーシップ

患者の人生を共に考えるがん医療をめざして

日野原重明＝監修

山内英子、松岡順治＝編

本体 3,500 円＋税／A5 判・256 頁／医学書院／2014

「がんサバイバー」(p.325)をご執筆の山内英子先生が編集、日野原重明先生が監修。山内先生には連載「JOY of the World!」(p.361)にもご登場いただきました。併せてお読みください。

がん治療の発展に伴い、がんは“不治の病”でなく「慢性疾患」として考えられるようになってきた。つまり、治療効果のみならず、その患者自身の人生をもに考え、医療に組み入れて実践していくことが求められている。本書では、がんサバイバーシップとは何か、各職種に求められるサバイバーへの具体的な関わり方、知っておきたい患者会の活動などを、経験豊富な医療者・アクティブに活動している関係者が解説した。



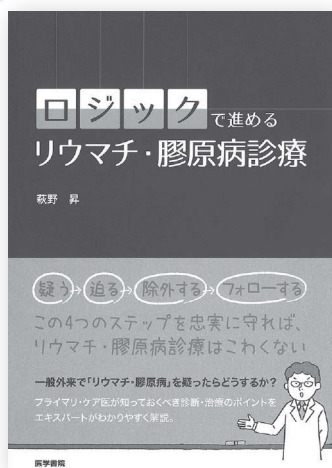
## 「閉経」のホントがわかる本

更年期の体と心がラクになる！

対馬ルリ子、吉川千明＝著

本体 1,700 円＋税／四六判・256 頁／集英社／2020

本特集で「更年期障害」(p.334)をご執筆の対馬ルリ子先生と、美容家の吉川千明さんと、更年期不調のリアルで切実な悩みに、丁寧にわかりやすく答えた。閉経前後 10 年間の「更年期」には、思わぬ不調が心身をおそう。ホットフラッシュ、手指のこわばり、めまい、ひどい首こりや肩こり、ドライアイなど全身の乾燥…。「なぜそうなるの?」「どう対処すればいい?」がすべてわかる！



## ロジックで進める リウマチ・膠原病診療

萩野 昇＝著

本体 3,800 円＋税／B5 判・176 頁／医学書院／2018

すぐれた若手リウマチ内科医・指導医として知られる著者が、その診療ロジックを惜しげもなく開陳した。プライマリ・ケアの場で一般医は、リウマチ・膠原病を「どう疑い」「どう追い詰める」べきなのか、治療薬を「何をもとに決定し、どう使用するのか」などの診療の基本を、著者ならではのロジック（思考経路）をもってわかりやすく示した、プライマリ・ケア医にとって頼もしい「通読できるリウマチ・膠原病の教科書」の登場。「更年期障害（p.334）」や「甲状腺機能低下症（p.327）」も解説。